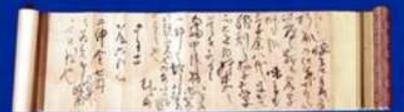
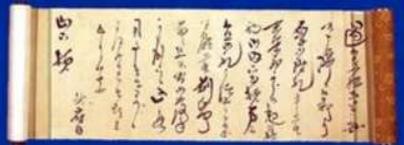


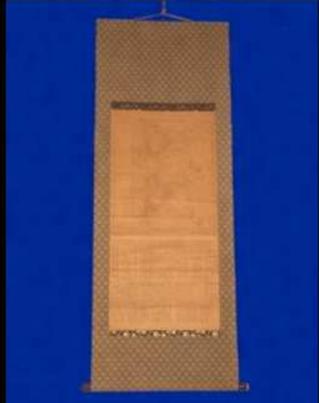
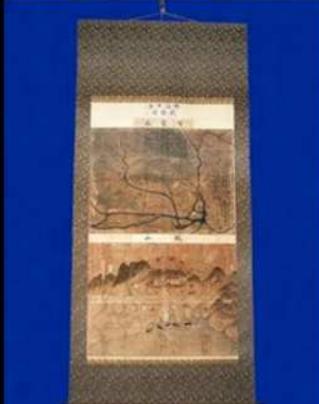
●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
1		<p>資料名： 是枝柳右衛門の筆記（寺田屋事件の記録） コレエダリュウウエモンノヒッキ（テラダヤケンノキロク）</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－古文書</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 寺田屋事件の直後に関係者の一人であった是枝柳衛門が写したもののですが、内容は藩側のものです。寺田屋での見取り図は唯一の貴重な記録です。</p>
2		<p>資料名： 河野通英辞令 カワノミチヒデジレイ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－古文書</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 河野助右衛門の長男として鹿児島城下高麗町に生まれました。戊辰戦争では越後から庄内へ転戦。維新後は司法省の判事になりましたが、1873（明治6）年辞職して帰郷。1877（明治10）年、鹿児島三等警部に任じられ、私学校徒に捕らえられた警視庁の中原尚雄らを尋問しました。西南戦争では薩軍に応じ、城山陥落後投降して懲役2年の判決を受けました。</p>
3		<p>資料名： 村田新八の手紙 ムラタシンパチノテガミ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－古文書</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 四月十日は西南戦争激戦のさなかです。村田は負傷したと思われる藤六郎が安心するように、八代口の勝利や各地で同士が蜂起したことを知らせています。実際には熊本から撤退する直前のことです。</p>
4		<p>資料名： 別府晋介の手紙 ベップシンスケノテガミ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－古文書</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 手紙の本文は、明治7年5月17日に、知人の山下某に当てたお礼状です。この手紙の別紙には、佐賀の乱に対する意見と主な関係者の氏名が書かれています。</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
5		<p>資料名： 乃木静子の手紙 ノギズコノテガミ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－古文書</p> <p>制作年： ー</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 姉へ宛てた新年の挨拶状です。夫の希典將軍も元気であることを伝え、あわせてお歳暮の小包を受け取ったお礼状をかねています。乃木夫妻は翌年の7月、明治天皇の崩御に殉死しました。</p>
6		<p>資料名： 地券 チケン</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－古文書</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 明治15年（1882）年10月・11月、明治16（1883）年6月発行の地券。明治政府が実施した土地・租税制度改革と地租負担義務を表示する証券。租税率 初め100分3のち100分の2.5</p>
7		<p>資料名： 琉球使節渡来図 リュウキュウシセツトライズ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： この図は、天保3（1832）年の謝恩使一行の様子を、京都の版元が刊行したものです。琉球は中国に朝貢しながら、江戸上りと呼ばれる使節団を將軍のもとに派遣しました。將軍が変わった時の慶賀使と、国王が変わった時の謝恩使とがあります。この時の正使は豊見城王子でした。薩摩藩からは藩主斉興の代わりに家老の島津久風が同行しました。</p>
8		<p>資料名： 武家装束着用の図 ブケショウゾクチャクヨウノズ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 上巻は、衣冠束帯に始まり直衣など公家の服装を図示し、簡単な故実を付けています。下巻は、直垂以下素襖まで武家の故実を加えて解説された武家装束の図録です。</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
9		<p>資料名： 敷根火薬製造所絵図 シキネカヤクセイゾウジョエズ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 薩摩藩は文久3（1863）年に敷根（国分市内）火薬製造所を建設しました。鹿児島滝の上の本局と合わせて幕末最大級の火薬製造所でした。この絵図は製造所の会計主任であった神戸在住の耕南が描いたものです。</p>
10		<p>資料名： 薩英戦争絵巻 サツエイセンソウエマキ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 文久3年6月27日イギリス艦隊が鹿児島湾に入港し、交渉が決裂して7月2日に薩摩藩の砲台と交戦、7月4日に山川港を去るまでの薩英戦争の様子を記録した絵巻物です。戦後間もなく書かれたもので、墨書は今和泉家の家臣脇田左衛門の見聞、朱書はイギリスの新聞記事によっています。彼我の史料に若干の違いがあります。</p>
11		<p>資料名： 明治十年戦跡の図（熊本城攻撃） メイジジュウネンセンセキノズ（クマモトジョウコウゲキ）</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 熊本城攻撃の図</p>
12		<p>資料名： 明治十年戦跡の図（城山攻撃） メイジジュウネンセンセキノズ（シロヤマコウゲキ）</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 可愛岳突破・鹿児島城山攻撃の図</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
13		<p>資料名： 薩軍監獄服役の図 サツグンカンゴクフクエキノズ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： この図は明治13年に、榎屋兼明が江崎旭郎に描かせたものです。榎屋は喜入郷から10年5月薩軍に応募して小隊長になりました。降伏懲役3年の判決を受け、群馬県の監獄で服役しました。描かれているのは、榎屋兼明・木脇盛志・向井盛方・江崎旭郎の4人です。</p>
14		<p>資料名： 油絵 東郷平八郎 アブラエトウゴウヘイハチロウ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 東郷吉左衛門の四男として鹿児島城下加治屋町に生まれました。薩英戦争・戊辰戦争に参加。日清戦争には浪速艦長として黄海海戦に参戦し、日露戦争には連合艦隊司令長官として、日本海海戦にバルチック艦隊を壊滅させ、「アドミラル東郷」の名をとどろかせました。</p>
15		<p>資料名： 上村彦之丞の肖像画 カミムラヒコノジョウノショウゾウガ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 上村藤一の子として鹿児島城下平之馬場に生まれました。戊辰戦争では鳥羽伏見から会津に転戦しました。日清戦争では秋津洲艦長として従軍し、日露戦争に第二艦隊司令長官として蔚山沖海戦で勝利をあげ、翌年の日本海海戦にも参加しました。</p>
16		<p>資料名： 熊本城攻撃の図 クマモトジョウコウゲキノズ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－絵図・地図</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： ー</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
17		<p>資料名：桜島燃記 サクラジマモエキ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－書籍・典籍</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：安永8(1779)年10月、桜島が噴火しました。いわゆる安永の大噴火です。この記録は、垂水島津家の家臣伊地知季虔が天保9(1838)年に著したものです。爆発の凄まじさや、噴火後に逃げ惑う人びとの姿など、災害の大きさを伝えています。</p>
18		<p>資料名：八田知紀の書 ハッタトモノリノシヨ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－書簡</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：「歳暮雪」 つもりけむ月日のはては白雪のひかりとなりてくれにけるかな。27歳で上京、桂園派の歌人香川景樹に師事し熊谷直好と桂門の二大歌人と称されました。維新後は皇学所御用掛、宮内省歌道御用掛などを経て、また多くの歌人を送り出しました。中でも高崎正風・黒田清綱・税所篤子など有名。宮中「御歌所派」の大御所でした。</p>
19		<p>資料名：東郷吉左衛門述懐 トウゴウキチザエモンジュッカイ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－書簡</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：東郷平八郎の父吉左衛門は、薩英戦争のときに指宿で勤務していました。この歌は指宿の陣中で詠んだものです。蒙古襲来の際の神風の再現を願ったのでしょうか。7月2日は激しい風雨の中での砲撃戦でした。</p>
20		<p>資料名：野津道貫の書 ノズミチツラノシヨ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－書簡</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：－</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
21		<p>資料名：上村彦之丞の書 カミムラヒコノジョウノシヨ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－書簡</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：－</p>
22		<p>資料名：岩下方平の書 イワシタミチヒラノシヨ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－書簡</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：この歌は、パリ万国博覧会から帰国の途中、慶応3（1867）年9月12日、香港を出港した時に詠んだものです、「西洋から帰る船の上にて」と題し、「唐土の山の端遠くきりこめて なミのうえ 清くすくめる月哉 方平」</p>
23		<p>資料名：黒田清隆の書 クロダキヨタカノシヨ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－書簡</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：黒田清行の長男として鹿児島城下樋之口に生まれました。戊辰戦争では鳥羽伏見で戦い、庄内藩の降伏議では西郷の指示で寛大に処分しました。1869（明治2）年箱館によった榎本武揚軍を追討するため五稜郭城を攻撃して降伏させましたが、榎本の助命を強く主張して実現させました。北海道開拓使では、札幌に近代的な工場群を建設し、ケブロン（開拓顧問）・クラーク（札幌農学校）らの外国人を招いたり、屯田兵を創設するなど、長官として北海道の開拓に尽くしました。のち、第二代内閣総理大臣になりました。</p>
24		<p>資料名：片岡七郎の書 カタオカシチロウノシヨ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－書簡</p> <p>制作年：－</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：片岡善藤太の子として鹿児島城下に生まれました。海軍兵学寮を卒業すると、ドイツに留学して同公使館付武官になりました。日清戦争では全剛艦長として参加、日露戦争では第三艦隊司令長官として戦いました。戦後、第一艦隊司令長官など海軍の要職を歴任しました。のち高等軍法会議の判士長として海軍収賄事件のシーメンス事件を裁きました。</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
25		<p>資料名：教科書 キョウカシヨ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－出版物</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：教育内容の基本を示したもので、義務教育を中心に制度的に規制された。1887年（明治20）年に検定制度、1903（明治36）年から1947（昭和22）まで国定制度になり、1948（明治23）からまた検定制度になった。</p>
26		<p>資料名：学問のススメ ガクモンノススメ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－出版物</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：福沢諭吉、小幡篤次郎著。明治初期の啓蒙的学問論。1872（明治5）年、2月初編、1876（明治9）年に第17編を刊行、初論で有名な「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」で始まり、人は学問の中でも実子を心得ることで、身も独立しそれが国家の独立、天下国家の独立に通じると説いた。学制や自由民権運動に広く影響を与えた。</p>
27		<p>資料名：肥後鎧 ヒゴヨロイ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：春田系の甲冑に属するもので、仕立ての技術は明珍系をはるかに凌ぐと言われてます。鉄砲伝来後は黒っぽい色を基調としました。</p>
28		<p>資料名：薩摩鎧 サツマヨロイ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：甲冑史上いちばん有名な明珍の系統に属し、鍛えた技術で名が知られていました。幕末のころ、薩摩藩の御甲冑所でさかんに作成されたものの一つです。兜の吹き替えしには十字紋が見られます。</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
29		<p>資料名：陣太鼓 ジンダイコ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：合戦の合図に使われた太鼓です。戦場では、「速く」また「静かに」、数挺の太鼓が打ち鳴らされ、兵士の士気をたかめました。やがて平和な江戸時代になると、この太鼓は合戦の様子を振付けた「土踊」に使われました。</p>
30		<p>資料名：煙硝入れ エンショウイレ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：煙硝入れは種子島銃に使った火薬入れです。煙硝は床下の土を薄く剥ぎ取り灰汁で取り出します。煙硝・硫黄・炭（桐炭または麻殻炭がよい）を臼に入れ火薬を調合しますが、危険な作業だったので冬の寒い夜の武士の仕事でした。煙硝入れのふた一杯分が一発の分量でした。</p>
31		<p>資料名：砲弾と小銃の弾丸 ハウダントショウジュウノダンガン</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：四斤砲の砲弾です。鉛の突起が8個あり、砲身の溝に沿って回転して飛びます。小銃の弾丸は鉛で作られていました。</p>
32		<p>資料名：桐野利秋愛用の碁盤・碁石 キリノトシアキアイヨウノゴバン・ゴイシ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：－</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
33		<p>資料名： 児玉八之進の軍服 コダマハチノシンノグンブク</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 鹿児島城下武村出身の児玉兄弟は、西南戦争で薩軍に参加して5人が戦死しました。長男の八之進は戊辰戦争に従軍し、1871（明治4）年御親兵として上京。砲隊少佐に任じられました。1873（明治6）年辞職して鹿児島に帰り、西南戦争では、小隊長として3月熊本の小川で戦死しました。</p>
34		<p>資料名：ズボン下 ズボンシタ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 西郷着用</p>
35		<p>資料名： 下駄 ゲタ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 西郷手作りの、愛用の下駄です。</p>
36		<p>資料名： 扇子 センス</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 西郷愛用</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
37		<p>資料名：琉球漆器（菓子器） リュウキュウシッキ（カシキ）</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：沖永良部島流罪中の西郷に、島役人の土持家が菓子などを出すときに用いた高杯です。</p>
38		<p>資料名：水滴 スイテキ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：西郷愛用の水滴です。</p>
39		<p>資料名：東郷平八郎着用の礼服 トウゴウヘイハチロウチャクヨウノレイフク</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：－</p>
40		<p>資料名：東郷平八郎着用の礼装用帽子 トウゴウヘイハチロウチャクヨウノレイソウヨウボウシ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：－</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
41		<p>資料名：薩摩琵琶 サツマビワ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：－</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：西郷隆盛の三男だった西三愛用の薩摩琵琶です。西郷家に長く秘蔵されていましたが、昭和6年西郷牛次郎から東京の素弦会に寄贈されました。昭和32年素弦会から鹿児島市に寄贈されたものです。明治時代、鹿児島出身の多くの人々が薩摩琵琶の弾奏を楽しんでいました。</p>
42		<p>資料名：紋付羽織 婦人用 モンツキハオリフジンヨウ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：－</p>
43		<p>資料名：野津道貫着用の礼服 ノズミチツラチャクヨウノレイフク</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：野津柴介の三男として鹿児島城下高麗町に生まれました。戊辰戦争では鳥羽・伏見から東北・箱館まで転戦し、1871年（明治4）年、御親兵として上京、佐賀の乱・西南戦争では政府軍として従軍しました。その後、第五師団長として、日清戦争、第四軍司令官として日露戦争に従軍しました。</p>
44		<p>資料名：鮫島尚信着用の直垂 サメシマナオノブチャクヨウノヒタタレ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：薩摩藩医 鮫島淳愿の子として鹿児島城下に生まれました。オランダ医学研修のため長崎に遊学し、1865年（慶応元）年薩藩留学生としてイギリスに留学、翌1866年アメリカに渡りました。1868（明治元）年に帰国し、新政府では外交部門を担当、1878（明治11）フランス特命全権公使となり、ベルギー・スペイン・ポルトガル・スイス公使も兼ね、外交官として活躍しましたがパリで客死。墓はモンバルナス基地にあります。</p>

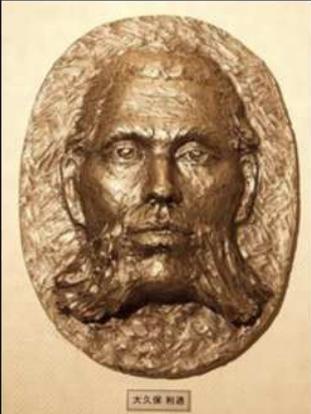
●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
45		<p>資料名： 上村彦之丞着用の礼服 カミムラヒコノジョウチャクヨウノレイフク</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： ー</p>
46		<p>資料名： 昇平丸 ショウヘイマル</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 総トン数 約225トン、長さ 15間（約27.27m）、幅 4間1尺（約7.58m）、深さ 3間（約5.45m）、帆船型 3本マスト・パーク型、艦船兵器 大砲10門・臼砲2門・小口径自在砲4門、乗員 40名、起工 1853（嘉永6）年5月、完工 1854（安政元）年12月、造船所 桜島 瀬戸村造船所、設計者 田原直助、オランダ翻訳書による。</p>
47		<p>資料名： 西郷さんを語るテープ サイゴウサンヲカタルテープ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： イト夫人の弟の妻、岩山トク（西郷からは義妹）が語る西郷さん生活の一面。聞き手勝目清（元鹿児島市長）、昭和27年6月東京通信（現ソニー）オープンリールテープ</p>
48		<p>資料名： 反射炉模型 ハンシャロモケイ</p> <p>分類： 明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年： 幕末・明治</p> <p>所管： 維新ふるさと館</p> <p>解説： 藩主、島津斉彬の命により家臣市来四郎、中原猶介、早宿彦右衛門らが蘭書「ギートウェーセル」を佐賀藩から譲り受け築造を試みたが失敗の連続であった、そのことを斉彬に報告すると「西洋人も人である、佐賀人も人である、薩摩人も人である。ますます研究せよ」とはっぱをかけられた。苦心のすえようやく1854年（安政元）年、五年あまりかかりようやく完成した。薩英戦争の時台場砲の多くがこの集成館で造った大砲であった。</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
49		<p>資料名：「雲行丸」の機関部模型 ウンコウマルノキカンプモケイ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：島津斉彬箕作阮甫 翻訳「水蒸船説略」により、江戸田町藩邸で、肥後七左衛門・梅田市蔵らに蒸気機関のひな型を作らせ、小船用機関の製作を命じた。同じ年鹿児島でも宇宿右衛門、市来四郎らにも蒸気機関のひな型をつくらせ。1855（安政2）7月、越通船に据付て成功した。長さが8m、幅3.3mで「薩摩の軍艦」と「薩摩公の蒸気船」とのうわさが、江戸中に宣伝された。</p>
50		<p>資料名：薩英戦争時の大砲模型 サツセイセンソウジノタイハウモケイ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：－</p>
51		<p>資料名：モールス信号機 モールスシンゴウキ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：電信機は、島津斉彬の命令で寺島宗則などが研究にあたり1857（安政4）年、鶴丸城での実験に成功。明治維新後の日本の電信事業創設の基礎となりました。また、電信を応用した地雷・水雷もつくられ、水雷は薩英戦争で実際に敷設されました。</p>
52		<p>資料名：西郷隆盛レリーフ サイゴウタカモリレリーフ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：「翔ぶが如く」に展示したもの。</p>

●明治維新ゆかりの品（維新ふるさと館） ※かごしまデジタルミュージアムからの移行データ

No.	資料写真	資料情報
53		<p>資料名：大久保利通レリーフ オオクボトシミチレリーフ</p> <p>分類：明治維新ゆかりの品－歴史その他</p> <p>制作年：幕末・明治</p> <p>所管：維新ふるさと館</p> <p>解説：「翔ぶが如く」に展示したもの。</p>